

# 岩手県ふるさと振興総合戦略

## ～岩手県まち・ひと・しごと創生総合戦略～

### (案)

平成 27 年 9 月

I	はじめに .....	1
II	ふるさと振興の3つの基本目標（施策推進目標） .....	3
III	総合戦略の展開 .....	19
IV	総合戦略の推進と市町村との協働 .....	111

岩手県ふるさと振興総合戦略は、岩手県の人口ビジョンを踏まえ、ふるさとを振興し、人口減少に立ち向かうための基本目標を定めるとともに、今後5年間の主な取組方向や具体的な施策、数値目標等を示すものです。

### 3-(3) 若者・女性の活躍支援プロジェクト

#### ＜取組の方向＞

- ・ 「いわて青少年育成プラン」に基づき、若者の交流の輪を構築して具体的な行動を起こす若者を支援するとともに、若者が活躍しやすくなる仕組みを充実していくことで、若者たちが躍動する地域づくりを進めます。
- ・ 男女が共に生きやすく・活気ある社会を形成するため、「いわて男女共同参画プラン」に基づき、男女双方のワーク・ライフ・バランスの確保を推進し、女性のライフステージに対応した活躍を支援する環境の整備を、経済団体等とも連携して進めます。

#### 〔現状と課題〕

##### ＜若者の活躍＞

- 東日本大震災津波からの復旧・復興の中で、高校生・専門学校生・大学生や社会人など県内外の多くの若者が、まちづくり活動やNPO活動、ボランティアなどで活躍しています。

このような若者の活躍を継続・拡大させていくため、若者の交流の輪を構築して、具体的な行動を起こす若者を支援することなどにより、若者の主体的な活動を活性化させていく必要があります。

- 若者の活躍は、今までにない発想や行動を生み出し、それらは岩手の未来を切り拓き、日本の未来を変える大きな力になることが期待されます。

しかし、大学生や専門学校生をはじめとした若者には、新たな活動を実施するに当たって資金面やノウハウの不足など様々な面で活動実施の困難に直面することが少なくなく、このような若者が一歩前に踏み出せるよう、若者が直面している課題を把握しながら、若者が活躍しやすくなる仕組みを充実していく必要があります。

##### ＜女性の活躍＞

- 社会のあらゆる分野において男女が対等な構成員として参画することが誰もが生きやすい社会につながります。平成24年に県が実施した「男女が共に支える社会に関する意識調査」によると、男女の不平等感は根強く残っており、男女共同参画について幅広い世代への意識啓発が必要です。

- 本県女性の労働力率は、25～29歳と45～49歳の二つのピークをもつ「M字」型の傾向にあります。ほぼ全ての年齢階級で全国平均を上回り、特にM字カーブの底となる30～39歳では約8ポイント上回っており、底が浅くなっています。誰もが働きやすい環境

づくりをさらに進め、女性が働き続けながら安心して出産・育児ができるような労働条件を整備するなど、女性が安心して働くことができる社会づくりが必要です。

- 本県の共働き世帯における家事時間の割合は、妻の負担が大きくなっています。女性が過重な家事負担を負うことなく仕事と家庭の両立が可能になるよう、固定的な役割分担意識の見直しを促進し、家庭生活への男性の主体的な参画を進めるとともに、男女双方にとってのワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の確保を推進していくことが必要です。
- 東日本大震災津波からの復興や女性の労働により経済活性化を図っていく必要があります。2014 年 5 月に設立した官民連携組織である「いわて女性の活躍促進連携会議」などを通じて女性の活躍推進の取組を進めていくことが必要です。
- 全ての人々にとって住みよいまちづくりを進めるためには、地域コミュニティ機能の低下などの地域課題の解決に向けた活動において、男女が共に対等な立場で参画し、男女双方の視点から企画・立案・実践していくことが必要です。
- 女性に対する暴力は、重大な人権侵害であるとともに、女性の活躍推進の障害となるものです。特に配偶者等からの暴力に関しては、その相談件数が増加傾向にあることから、関係機関が連携して、暴力を許さない社会づくりに向けた意識啓発、相談窓口の整備、社会復帰や自立のための支援体制の整備に取り組むことが必要です。

## ふるさと振興の具体的な取組

### 〔主な取組内容〕

#### ＜若者の活躍＞

##### ① 若者間のネットワーク構築の促進

- ・ 既に活動している若者や活動する意欲のある若者等による情報の共有を図り、若者がその自由な発想を活かして、地域の課題解決に向けた活動につなげられるよう若者の交流の場を創出します。

K P I : ■いわて若者交流ポータルサイト登録団体数（累計）：70 団体〔H26 実績値 18 団体〕

## ② 若者の活躍を支援する仕組みの充実

- ・ 「若者が活躍し、若者自身の自己実現が図られることによる生きやすさ」を実現するため、震災復興や地域づくり等に関し、若者団体自らが実施する地域課題の解決や地域の元気創出に資する事業を支援します。

K P I : ■いわて若者交流ポータルサイト登録団体数（累計）：70 団体〔H26 実績値 18 団体〕

### <県民総参加の取組>

若者たちが躍動する地域づくりを進めるためには、県民の参加はもちろん、若者団体、企業、NPO等や市町村などが連携して取り組みます。

県以外 の主体	(若者団体、企業、NPO等) ・それぞれが得意とする分野での若者による取組の実施や、取組を行おうとする若者へのサポート ・若者同士のつながりづくり	(市町村) ・地域の若者活躍に関する情報把握と、団体や県との情報共有 ・団体や県と連携した若者活躍支援に関する取組
県	・若者の交流の場の創出 ・若者団体自らが実施する事業の支援	

## 《女性の活躍》

### ① 男女共同参画の視点に立った意識啓発

- ・ 男女共同参画センターを拠点とした、情報収集・提供、研修・講座の開催、人材育成等の取組を通じて男女共同参画の意識啓発を進めます。

K P I : ■男性の男女共同参画サポーター認定者数（累計）：145 人〔H26 実績値 97 人〕

### ② ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進のための環境づくり

- ・ 経済団体や産業団体と連携し、事業所におけるワーク・ライフ・バランスや女性登用を推進するための研修会等を開催するほか、男性の理解・協力を促進するための講座を開催などに取り組みます。

K P I : ■女性の職業生活における活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定届提出企業数（労働者 300 人以下）（累計）：80 社〔H26 実績値 0 社〕

### ③ 女性自身の意識啓発

- ・ 女性管理職経験を若い女性にロールモデルとして提示する機会の創出やセミナーの開催など、女性自身がキャリアアップするための支援に取り組みます。

K P I : ■ロールモデル提供事業参加者数：45 人〔H26 実績値 20 人〕

### ④ 地域における男女共同参画の推進

- ・ 地域づくりや政策決定などあらゆる場面で女性が参画できるよう人材の発掘、育成を進めるとともに、県審議会等における委員の男女比を 40%～60%となるよう女性の登用に取り組みます。

K P I : ■男女いずれか一方の委員の数が委員総数の 40%未満にならない審議会等の全審議会における割合：76.7%〔H26 実績値 60.3%〕

### ⑤ 女性に対するあらゆる暴力の根絶

- ・ 市町村、関係団体等と連携し、女性に対するあらゆる暴力、特に配偶者等からの暴力の根絶に向けた意識啓発、相談・保護体制の充実、被害者の自立支援に取り組みます。

K P I : ■DV 相談員研修会参加者数（毎年度）：50 人〔H26 実績値 61 人〕

### ＜県民総参加の取組＞

男女が共に生きやすく・活気ある社会を形成するため、県民、NPOや企業・団体、市町村と連携して取り組みます。

県以外の主体	<p>（県民・NPO等）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・家庭における男女平等の推進</li><li>・男女の対等なパートナーシップに向けた意識改革</li></ul> <p>（企業・団体）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・女性の活躍やワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進するための就労環境整備</li></ul>	<p>（市町村）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・住民への意識啓発・広報</li><li>・配偶者からの暴力被害者への相談対応と防止に向けた意識啓発</li></ul>
県	<ul style="list-style-type: none"><li>・全県を対象とした普及・啓発</li><li>・全県的な人材の育成</li><li>・市町村が行う取組への支援</li><li>・審議会等政策・方針決定過程への女性の参画促進</li><li>・女性の活躍やワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の調和）を推進するための環境整備</li><li>・女性の活躍やワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の調和）に取り組む企業に対する支援</li><li>・配偶者暴力防止対策の実施</li></ul>	